

平成29年度

(下期) 長洲町下水道事業業務状況説明書

長洲町下水道事業

平成29年度（下期）長洲町下水道事業業務状況説明書

（平成29年10月1日～平成30年3月31日）

1 事業の概要

（1） 水洗化人口	
公共下水道事業	13,950 人
個別排水処理事業	109 人
特定地域生活排水処理事業	101 人
合 計	14,160 人
（2） 総処理水量	
うち長洲処理区流入分	622,306 m ³
うち岱明処理区流入分	539,112 m ³
（3） 一日平均処理水量	
	6,381 m ³
（4） 有収水量	
公共下水道事業	641,238 m ³
個別排水処理事業	4,643 m ³
特定地域生活排水処理事業	4,284 m ³
合 計	650,165 m ³
（5） 主要な建設改良工事	
ア. 公共下水道汚水幹線管路更生設計業務委託	43,547 千円
イ. 公共下水道公共枡設置工事	8,482 千円
ウ. 公共下水道マンホールポンプ場ポンプ設備取替工事	3,380 千円
エ. 公共下水道浄化センター最初沈澱池掻寄機ベルト取替工事	7,536 千円
カ. 合併処理浄化槽設置工事	1,745 千円
オ. 公共下水道長洲町浄化センターの建設工事委託	106,000 千円
カ. 公共下水道長洲町浄化センターの改築工事委託	288,000 千円
キ. 公共下水道長洲町浄化センター建設工事委託	439,464 千円
ク. 公共下水道ストックマネジメント計画策定業務委託	14,540 千円

2 経理の状況

(ア) 収益的収入及び支出

(収 入)

区 分	予 算 額	当期執行額	執行累計額	執 行 率	備 考
第1款 下水道事業収益	881,342,000	480,990,737	874,949,665	99%	
第1項 営業収益	337,682,000	158,300,486	336,805,482	100%	
第2項 営業外収益	543,657,000	318,414,870	533,818,402	98%	
第3項 特別利益	3,000	4,275,381	4,325,781	144193%	

(支 出)

区 分	予 算 額	当期執行額	執行累計額	執 行 率	備 考
第1款 下水道事業費用	864,539,000	699,394,537	838,609,718	97%	
第1項 営業費用	738,705,000	642,472,689	718,489,636	97%	
第2項 営業外費用	120,662,000	56,892,898	116,943,532	97%	
第3項 特別損失	3,181,000	28,950	3,176,550	100%	
第4項 予備費	1,991,000	0	0	0%	

(イ) 資本的収入及び支出

(収 入)

区 分	予 算 額	当期執行額	執行累計額	執 行 率	備 考
第1款 資本的収入	1,223,174,000	584,477,208	797,667,532	65%	
第1項 企業債	401,900,000	247,300,000	247,300,000	62%	
第2項 他会計出資金	142,576,000	35,644,000	142,576,000	100%	
第3項 国庫補助金	501,340,000	234,611,000	234,611,000	47%	
第4項 工事負担金	177,357,000	66,922,208	173,180,532	98%	
第5項 固定資産売却代金	1,000	0	0	0%	

(支 出)

区 分	予 算 額	当期執行額	執行累計額	執 行 率	備 考
第1款 資本的支出	1,516,500,000	588,369,361	1,001,581,408	66%	
第1項 建設改良費	976,424,000	320,610,921	469,333,215	48%	
第2項 企業債償還金	532,984,000	267,758,440	532,248,193	100%	
第3項 国庫補助返還金	2,092,000	0	0	0%	
第4項 予備費	5,000,000	0	0	0%	

(ウ) 特例的收入及び支出

(収 入)

区 分	予 算 額	当期執行額	執行累計額	執 行 率	備 考
特例的收入	153,634,394	103,491,882	150,464,665	98%	
平成28年度公共下水道 特別会計未収金	3,765,054	267,590	2,686,983	71%	
公共下水道特別会計 繰越事業未収入財源	149,850,000	103,224,292	147,758,342	99%	
平成28年度浄化槽施設 整備事業特別会計未収金	19,340	0	19,340	100%	

(支 出)

区 分	予 算 額	当期執行額	執行累計額	執 行 率	備 考
特例の支出	196,835,827	102,029,000	196,835,327	100%	
平成28年度公共下水道 特別会計未払金	9,627,077	△ 30,000	9,627,077	100%	
消費税及び 地方消費税納付額	3,794,300	0	3,793,800	100%	
繰越明許事業	183,000,000	102,059,000	183,000,000	100%	
平成28年度浄化槽施設 整備事業特別会計未払金	414,450	0	414,450	100%	

(2) 平成29年度長洲町下水道事業損益計算書

(平成29年10月1日から平成30年3月31日)

1	営業収益			
(1)	使用料	113,677,186		
(2)	他会計負担金	8,100,500		
(3)	区域外流入負担金	27,193,926		
(4)	その他の営業収益	226,315	149,197,927	
2	営業費用			
(1)	管渠費	9,977,242		
(2)	ポンプ場費	3,602,043		
(3)	処理場費	66,956,998		
(4)	浄化槽施設費	3,198,200		
(5)	普及指導費	192,857		
(6)	業務費	13,750,668		
(7)	総係費	16,777,424		
(8)	減価償却費	519,907,458		
(9)	資産減耗費	1,435,705	635,798,595	
	営業損失			486,600,668
3	営業外収益			
(1)	受取利息	1,099		
(2)	他会計負担金	68,255,500		
(3)	長期前受金戻入	239,352,822		
(4)	資本費繰入収入	7,000,083		
(5)	雑収益	643,540	315,253,044	
4	営業外費用			
(1)	支払利息及び企業債取扱諸費	56,892,898		
(2)	雑支出	3,974,955	60,867,853	254,385,191
	経常損失			232,215,477
5	特別利益			
(1)	過年度損益修正益	4,275,381	4,275,381	
6	特別損失			
(1)	過年度損益修正損	26,806	26,806	4,248,575
	当期純損失			△ 227,966,902
	前年度繰越利益剰余金			0
	当期末処理剰余金(欠損金)			△ 227,966,902

※減価償却費、資産減耗費、長期前受金戻入については決算時にまとめて処理したため下期に計上しました。上期、下期の当期末処理剰余金(欠損金)の合計額21,534,062円が貸借対照表の利益剰余金と一致します。

(3) 平成29年度長洲町下水道事業貸借対照表

(平成30年3月31日)

資産の部

1	固定資産			
(1)	有形固定資産	12,374,460,967		
	減価償却累計額	-519,414,264		
	有形固定資産合計		<u>11,855,046,703</u>	
	固定資産合計			11,855,046,703
2	流動資産			
(1)	現金預金		228,745,683	
(2)	未収金		6,890,653	
	流動資産合計			<u>235,636,336</u>
	資産合計			<u>12,090,683,039</u>

負債の部

3	固定負債			
(1)	企業債		<u>5,141,791,901</u>	
	固定負債合計			5,141,791,901
4	流動負債			
(1)	企業債		533,537,568	
(2)	未払金		88,620,323	
(3)	引当金		3,040,812	
	流動負債合計			625,198,703
5	繰延収益			
(1)	長期前受金		5,227,619,034	
(2)	長期前受金収益化累計額		<u>-238,235,182</u>	
	繰延収益合計			<u>4,989,383,852</u>
	負債合計			<u>10,756,374,456</u>

資本の部

6 資本金		
(1) 自己資本金	1,094,786,463	
資本金合計	<u>1,094,786,463</u>	1,094,786,463
7 剰余金		
(1) 資本剰余金	217,988,058	
(2) 利益剰余金	21,534,062	
剰余金合計	<u>239,522,120</u>	239,522,120
資本合計		<u>1,334,308,583</u>
負債・資本合計		<u>12,090,683,039</u>

平成 30 年度予算の概況及び経営方針

本町の下水道事業につきましては、公共用水域の水質の保全を図りながら安心して生活ができる環境をつくり、安全な施設で継続的な汚水処理ができるよう計画的な運営に努めているところです。平成 29 年度から平成 31 年度までの 3 年間でストックマネジメント計画を策定し、計画的な下水処理施設の更新事業を進め、施設の長寿命化を図り、また、管路につきましては、今年度より新たに管路及びマンホールの点検を行い、突発的な事故を未然に防ぐための更生工事に努めてまいります。

平成 30 年度の下水道事業会計予算は、業務の予定量として汚水処理件数 5,484 件、年間総汚水処理水量 244 万 7,650 m³を見込んでおり、これらに必要な諸経費及び使用料収入等を計上しました。

収益的収支につきましては、事業収益 910,321 千円から消費税及び地方消費税分 27,146 千円を控除し、事業費用 884,507 千円から消費税及び地方消費税分 18,322 千円を控除した結果、当年度純利益は 16,990 千円となります。

次に資本的収支ですが、30 年度の主な建設改良工事として浄化センター改築・増設等事業、管渠改築・更新事業等の費用を計上しました。

収入においては、これら支出に対応する財源として、国庫補助金、分担金、企業債等を計上しました。その結果、資本的収入 687,995 千円、資本的支出 977,163 千円となり、差引 289,168 千円の財源不足となる見込みですが、これは損益勘定留保資金等で補てんすることとしております。

さらに、経営につきましては平成 29 年度より地方公営企業法を一部適用し、経営の効率化・適正化を図る中、さらに経営に柔軟性を持たせるため、今年度は地方公営企業法の全部適用に向けた取り組みを行い、より一層の経営の効率化・健全化を図るとともに、水洗化の促進及び施設の適切な維持管理に努めてまいります。